



写真・文 タカヤナギユタカ

難関突破のお守り800円 安宅住吉神社 石川県小松市安宅町タ17 TEL 0761-22-8896

全国で唯一という「難関突破のお守り」を授けてくれる小松市の安宅住吉神社。創建748年、大阪の住吉大社から勧請したといわれる住吉大神は、禊祓の神であり、神道でもっとも大事な「お祓い」を司る神様。また、海上安全の守護神、和歌の神様でもある。

安宅の関において義経主従が、安宅住吉の大神のお助けと弁慶の機転で無事関所を抜けたということから安宅住吉神社の神様は、難関突破の霊神として「難関突破のお守り」を授けていただける。

人間誰しも生きていけば何度か難関にぶち当たるもの。受験や就職、事業などなど。自分で精一杯努力して、後はもう安宅住吉神社の神様のご加護をお願いするというのも気持ちの支えとして良いことかもしれない。スポーツでも仕事でも受験でも、何事も気持ちが一番なのだから、気持ちがあっても楽になり前向きになれるのであれば良いのである。

ところで今、僕たちがあちこちの神社で目にするお守り袋に入った「お守り」が登場したのは意外なことに第二次世界大戦後のことなんだとか。お守りのルーツとも言える「御札」は8世紀末頃からあって、平安時代には陰陽師が加持祈禱が行って呪文を書いた紙の「御札」を神棚や門口に祀るようになった。以降、女性のための「懸守」という首からかける形の御札はあったが、一般には長い間、神棚に祀った家の柱などに貼っておくだけだった御札を、戦争中になると兵隊さんの服に縫いつけたり布袋に入れて持ち歩くようになった。そして戦後すぐにとある京都の西陣織の会社が、丈夫できれいなお守り袋にお札を入れれば、持ち歩きにも都合がよいし汚れることも少ないと考案したのが、今のお守りの形なんですね。

安宅住吉神社の 難関突破のお守り



表紙・裏表紙写真 タカヤナギユタカ
表紙 小松安宅町 梯川河口
裏表紙 小松市安宅海岸

加賀日和 vol.16

CONTENTS



江戸時代の「勸進帳」の錦絵(安宅住吉神社)

P03
これが欲しい! 安宅住吉神社の難関突破のお守り

P04
エッセイ「愛しの南加賀」 井上朋恵さん

P05
安宅、まちあるき。

P24
「ミュージカル勸進帳」by リトルパインシアター

P26
町が舞台。大聖寺で行われた城下町時代結婚式。

P27
カフェ日和 Sea side Cafe うみぼうず